世代交流がつなぐ、 持続可能なやさし い まち

voice



左から大野中学校3年、髙橋 侑愛さん 難波 紗彩さん、神山 花さん

交流したい。若い人たちの想い

夏休み中、社会福祉協議会の取組 みとして、大野中学校から3名の生 徒がボランティアとして訪問し、体 操教室に参加しました。

将来、看護師や救急救命士になり たいと夢を語ってくれた3人は、「将 来を見据えて、高齢者の方々と交流 したいと思い、自らボランティアを 志願しました。皆さんが優しく声を かけてくださったおかげで緊張がほ ぐれ、すぐに打ち解けることができ ました。体操教室では、私たちの方 が体が硬かったので、ちょっと恥ず かしかったです(笑)また、いこいに 来ます」と話してくれました。



家庭の母の味をコンセプトに

市内で活動する食生活改善推進員 (通称、食改)さんも毎月第3木曜日、 「家庭の母の味」をコンセプトに、 食改ならではの知識や技術を活かし て、"おいしいと健康"を組み合わ せたランチを提供しています。

食改では現在会員募集中です。

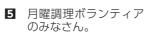
私も食改に参加してみた い!という方は市役所ま で、ぜひお問い合わせく ださい。











金曜調理ボランティア のみなさん。

インタビューにもご協 力いただいた、水曜調 理ボランティアのみな さん。

みなさんに話を伺いまし

た。

水曜日の調理ボランテ

0

メンバ

その日頂いた食材でメニュ、ンバーには献立名人がい

い加減は良い加減

「始めたきっか

純で

事。盛り付け名人もい

ますよ。」

料理の哲学とも言え

を一品増やす

のは日常茶飯

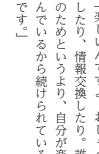
人手が足り

な けは単

いと聞いて、



週3回(月・水・金)の昼食をつくるのは 調理ボランティアのみなさん。 設立当初から活動されている方も多く いらっしゃいます。



だと言います 日々の調理は創意工夫の連続 5

物ある?』 「例えば、 『今日は何か 『ナスをもらっ ŧ たか

恵が凝縮されているようで

長年の経験と知

!』なんてね。」 ・、味噌ナスを追加で作る

「楽しいんです おしゃ 自分が楽し 誰か るん べり

> けがポイント 足りないなってくらいの盛り付 り付けで決まります。 「料理の出来栄えの 最後に、 味わい深い言葉もい なんです。」 ちょっ

い加減は良い んば いが ·加減。 大切 切です

料理

ただきまり

る言葉が。 8割は、 盛

たんです。

でも、

続けて

る理

由は違います。」

じゃ

あ、手伝おうか』

と思っ

姿が印象的な、たくと君。

もあっ

なったの。

の?』って声をか





誰でも歓迎の場所なので、この日も初めて訪れる方がい

中学生のボランティア活動の様子。

介護福祉士&パーソナルトレーナー吉村先生の 体操教室は毎週金曜日に開催。毎回、大盛況です。 3 4

立ち寄りたくなる地域の縁側

と人をつなげる素敵な場所がた くさんあります 私たちのまちには、 その一つである、 中と外をつなぐ憩 昔から日本の家にあった、 心いの場所。 そんなー

設以来、 窓口や健康づ 提供に加え、 呼べる存在です。 まさにそ の『ふれあい食堂いこい』 います。 週3回の安価な昼食の んな〝地域の縁側〟 地域の くりの取組みをし 平成27年の開 人々の相談 は

緒に訪問しました。

たくと君が、

お母さんと一

4月から小学

年生にな

こんなお客様も。

「ここに来るのをとて

も楽

れる場所。 ません。 となって 気軽に立ち寄れる大切な居場所 交流が生まれ、 ここは単なる食事処ではあり 世代を超えた出会 います。 地域住民にとって、 の絆が育ま いと

続く「いこい」ならではの夏のなっています。これは、9年間み中に一人で来店するように

頃からお母さんと通っていた子

現在は中学生になり、夏休

にしていた。」と話すたくと君。

いこいには、かつて幼稚園の

自分のことを気にかけてくれる から文化祭で話しかけて友達に いこいで顔を見たことがあった たけど、『最近来な 出歩くのが面倒な時 たけど、 不ようかくれたの ひとコマです

のが嬉しかっ

「名前はわ

からなっ

か

つ

「ごちそうさま」と元気に挨拶する

さを感じてしまうんだよ を置いてるのに、 なって思ったの。」と話す 「人と関わることが面倒で距離 いに来る方は話し ときどき寂っ ね。

方や、

September 2024 2